

まほろば秦野通信

令和5年1月5日

タイトル	子供たちが無病息災、家内安全を祈り家々を回る 地域の伝統行事「あくまっぱらい」
What (なにを)	江戸時代から続く小正月の伝統行事「あくまっぱらい」
When (いつ)	【北地区・横野】 1月7日(土曜日) 午前8時半集合 からこ 加羅古神社(秦野市横野608)
Where (どこで)	地元では獅子舞と呼ばれ、地区の小・中学生が最年長の大將を中心に獅子頭をかぶり、太鼓を鳴らしながら「舞い込め」の掛け声とともに、横野地区の家(約200件)のお払いをします。
Who (だれが)	一時的に途絶えていた時期がありましたが、昭和40年代に子ども会が再開しました。
How (どのように)	【上地区・菖蒲】 1月13日(金曜日) 午後3時集合 道祖神前(秦野市菖蒲997)
	しもひがし 下東地区の小・中学生の男子が、最年長の大將を中心に獅子頭や御幣を持ち、ひょっとこの仮面をかぶって、菖蒲地区の家(約150軒)の玄関先などで「あくまっぱらい」と大声で唱え、手作りの札を配ります。
Why (なぜ)	「あくまっぱらい」とは、いくつかの地区に伝えられている道祖神祭りの別名の一種で、無病息災、家内安全を祈る行事です。
過去の実績	毎年小正月(1月15日前後)に行われます。
問い合わせ	生涯学習課 文化財・市史担当 浦野 電話: 0463(87)9581